

事務事業評価シート

H27(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	教育委員会事務局
	19289-1	青少年自立支援事業	室名	生涯学習室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財 会計	一般会計
	基本施策	01:子どもたちの学びと健全育成	務 款	教育費
	施策の方向	07:青少年の健全育成と青少年活動の促進	科 項	青少年対策費
戦略プロジェクト		目 目	青少年対策費	

② 目的・概要	対象	青少年およびその家族
	目的	青少年の社会的自立の遅れに対する相談や自立に向けた支援活動を行う。
概要	青少年の自立支援を実施するため、心理士等の資格を持った支援員を配置し、ひきこもりやニート等の悩みを持つ青少年に対して相談やグループワーク、年齢や状況の段階に応じて就労・就学支援を行う。	

		27年度	28年度
①	名称	グループワーク開催回数	計画値
	補足	料理教室、社会見学など	実績値 8 単位 回
②	名称	センター周知のための広報活動回数	計画値
	補足	広報やパンフレット等によりセンターの認知度を上げる。	実績値 2 単位 回
③	名称	相談件数	計画値
	補足	ニートやひきこもりなどの青少年の悩み相談等	実績値 263 単位 人
④	名称		計画値
	補足		実績値 単位

年度計画				年度実績							
④ 事業の計画・実績	<p>ニートやひきこもり等、悩みを持つ青少年やその家族に対して、センターへの来所及び電話相談を中心に、ニートやひきこもり等について子ども支援室、適応指導教室等と連携を図りながら、切れ目のない相談支援を行った。また、学校などの要請により個別に訪問支援を行った。支援の手法についてグループワークなどを足掛かりとする就労就学・就学支援を取り入れながら、社会への自立促進を支援した。</p>				総人件費 ①		758	平均給与額×③			
					一般職員人件費 ②		758				
					所要人員 ③		0.10				
					臨時職員人件費 ④						
					受益者負担額 ⑤						
					受益者負担率		0.0%	⑤ / ⑥			
					事業費	計画額	予算額	決算額	人件費		
					国庫支出金						
					県支出金						
					地方債						
その他											
一般財源		4,339	4,188								
再掲	翌年度への繰越額										
	前年度からの繰越額										
	総人件費		①	758							
	総コスト		⑥	4,946							

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	全国的にも先進的な取組みであると高く評価されている亀山市独自の施策として、福祉・教育が連携を取りながら、不登校・引きこもりなどの課題を抱えた青少年とその家族に対して、持続的な支援活動を行うことができた。また、適応指導教室とは一体的な連携を図ることができた。	総合判定 B まずまず進んだ
	【反省点・課題】	実質的に支援につながる事例はなかったが、平成27年4月施行の「生活困窮者自立支援法」に伴い、社会福祉協議会との連携関係を強化する必要がある。また、自立支援のためには、一時的な「居場所」となるデイトレーニングルームといったスペースの設置や、複雑深層化する支援内容に対応するための体制について検討する必要がある。	
	【改善の方向性】	支援についてより広い視点で展開する必要があると考えており、県や市福祉部局などより強固な連携を図る必要がある。そのうえで福祉部局での一元化も視野に入れてセンターにおける支援業務のあり方について、第2次総合計画・地域福祉計画・生涯学習計画に検討を進めることを位置づける。	
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 生涯学習室長 亀山 隆